

第8回浦和野田線の整備に関する意見交換会

【日 時】令和8年1月30日（金）14：30～16：00

【場 所】荻島地区センター・公民館 会議室A

【参加者】北越谷一丁目自治会、北越谷二丁目東自治会、北越谷四丁目自治会、南荻島出津自治会、さしきだ自治会、文教大学、元荒川の自然を守る会、越谷市道路建設課・学務課、埼玉県総合治水事務所、埼玉県越谷県土整備事務所（計17名）

【傍聴者】2名

【議 事】

- (1) 生活環境（騒音）対策
- (2) 出津橋周辺の円滑な道路横断手法
- (3) 第3回オープンハウス型説明会開催のお知らせ
- (4) 今後のスケジュール

【主な意見交換の概要】（○：構成員、➤：事務局）

生活環境（騒音）対策について

- 実測した音を基に騒音対策を検討しているのか。
- 実測した音ではなく、道路交通騒音の予測モデルを使用し、シミュレーションした結果に基づいて騒音対策を検討している。

- No.3のみ遮音壁が設置されない理由は。
- 各地域で定められた環境基準値以下となるように騒音対策を検討しており、No.3は低騒音舗装を実施することで環境基準値以下の予測結果となったことから、遮音壁の設置までは見込んでいない。

- 提示された図だけでは遮音壁が設置された場合のイメージが湧かないので、歩道から見た時の図など用意して欲しい。
- 御意見を踏まえて説明会では提示できるように対応する。

- 遮音壁は、ガードレールのように交通安全施設の代わりとなるのか。
- 遮音壁は騒音対策を目的とした施設であるため、ガードレールの代わりとはならない。

出津橋周辺の円滑な道路横断手法について

- 歩行者等が出津橋から平坦に道路を横断できるようによく考えられた案だと思う。出津橋と横断歩道の位置はどのように決めているのか。
- 横断歩道は、「信号機設置の指針」に基づき、隣接する信号機との距離を 150m 以上離れた位置としている。出津橋は、越谷市の架換え計画を踏まえた位置としている。

- 道路横断後のスロープは、北越谷駅方面に向かって直線的に通行するほうが使いやすいのではないか。幅員も広い方がよい。
また、階段の降りる方向も現在と同様に南側へ降りる方が使いやすいのではないか。
- いただいた御意見のほか、説明会での御意見も踏まえて判断していく。

- 前回のオープンハウス型説明会では、出津橋の混雑緩和を目的とした 2 橋案が提示されていた。1 橋では人の流れが 1 箇所集中し、混雑緩和にならないので、2 橋架設を考えて欲しい。
- 2 橋案には課題があり、実現は困難である。その課題の解決策として案 5（案 4のうち、下流に 1 橋のみ設置）をオープンハウス型説明会で提示したが、橋の位置が変わると不便との御意見をいただいた。
このため、橋の位置を変えず道路を円滑に横断できる手法として検討したものが案 6 である。
なお、越谷市からは、「架換えに当たっては、利用実態を踏まえ、地元住民の意見を伺いながら拡幅等を検討していく」と聞いており、県としては橋の幅員が拡幅されれば混雑も緩和されると考えている。

- 車両目線の走行動画を見たが、動画のスピードが早い。また、車道目線のため遮音壁が設置された場合などのイメージが分からない。高齢者でも理解できるように配慮いただきたい。
- 動画のスピードを遅くすることや歩行者目線の画像を並べたパネルを用意することで理解いただけるように配慮したい。